

単会PR文

「和を以て貴しとなす」

DATA

設立年月日	昭和47年7月1日		【単会PR】 わが街、登別市は北海道南西部の太平洋に面し、日本有数の温泉郷で知られる登別温泉を抱える観光都市です。今年度は「和を以て貴し(たつし)となす」をスローガンに掲げ地域経済の未来へ繋がる新たな魅力を見出し、新生活スタイルを取り入れた活動を展開してまいります。
会員数	36名(令和3年5月1日現在)		
年齢制限	原則として満 45 歳		
年会費	36,000円		
市町村の人口	46,362人(令和3年6月1日現在)		
会長名	江尻 圭太		
事務局	〒	059-0012	
	住所	登別市中央町5丁目6番地1	
	TEL	0143-85-4111	
	FAX	0143-85-4199	
	URL		
	E-mail	veg@noboribetsu.cci.or.jp	
担当者	北原 知英子		

地域資源

国際交流	姉妹都市や交流都市、交換学生等を行っている都市 中華人民共和国広東省広州市、デンマークファボー・ミッドフュン市、サイパン市
特産品・食品	生産量の多い食品、加工品、有名農産物、工業製品 北寄貝、スケソウダラ、白鮭、毛蟹、たらこ、食肉、乳製品
健康	病院、都市の健康宣言・健康資材など JCHO 登別病院、登別市民プール「らくあ」、健康福祉センター「しんた21」、登別市総合体育館、岡志別の森運動公園、サンライバスキー場、登別カントリー倶楽部
教育	大学、専門学校、特殊教育学校 日本工学院北海道専門学校、北海道登別明日中等教育学校
イベント スポーツ レクリエーション	祭り、スポーツイベント等 登別地獄まつり、のぼりべつ夏まつり、わくわく広場のぼりべつ、登別漁港まつり、グリーンピアサマーフェスティバル、幌別地区手作りまつり、登別温泉湯まつり、鬼まつり、地獄の谷の鬼花火
歴史・文化	歴史文化上の云われなど 登別という地名は「ヌプルベツ」(色の濃い川)に由来する。明治に現、宮城県白石市より白石藩片倉家が入植、市内には片倉町と地名が残っている。現在、白石市と姉妹都市。
観光・自然	有名な観光地・施設・乗り物・山野・川・海岸など 登別温泉、登別クマ牧場、登別マリンパークニクス、登別伊達時代村、新登別大橋、桜並木、登別温泉地獄谷、大湯沼、日和山、橘湖、ふおれすと鉱山、キウシト湿原
博物館等施設	美術館・博物館・科学館等 登別郷土資料館、登別文化交流館「カント・レラ」、知里幸恵「銀のしづく」記念館
人物	政治経済・芸能・スポーツ選手・歴史上の有名人 長嶋 有(作家)、知里幸恵(作家)、知里真志保(言語学者)、吉田兄弟(津軽三味線奏者)、相原コージ(漫画家)
主要企業・技術	上場企業、誇るべき地元企業、特色ある技術など コンクリート製品、FRP製品、温泉ホテル及びアミューズメントパーク等観光・娯楽産業
その他	その地域のための全国にアピールできる連携事業など 地獄の谷の鬼花火(湯鬼神による手筒花火)

